

6-2 2/6の指導計画

(1) 目標

主人公にする登場人物を決めるために、登場人物のことが分かる表現に気を付けて「盆土産」を読み、描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、人物像を思い描くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	教材資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	○リライト作品の主人公にする人物を決めるために登場人物について読み取ることを理解させる。	
主人公にする人物を決めるために、「盆土産」の登場人物について読み取るう				
展開	2 ワークシート②の教材文において、祖母について分かるところに線を引き、その部分から分かることをワークシート②の下の欄に書き出し、どういう人物であるか考えてワークシート③に書く。 3 祖母と同様にして、少年、姉、父親登場人物のことが分かる表現にマーカーで線を引き、分かることを下の欄に書き出し、それぞれの人物について、どういう人物であるか考えてワークシート③に書く。 4 ワークシート③に書いた人物像についてグループで紹介し合う。 5 主人公にしたいと思う人物を、理由を明らかにして決める。	ワークシート② ワークシート③	○学級全体で取り組み、どのように人物像を読み取るか確かめさせる。 ○ワークシート②、③を配布し、線の引き方や書き込みの仕方を確かめさせる。 <input type="checkbox"/> 少年…赤色 <input type="checkbox"/> 父親…黄色 <input type="checkbox"/> 姉…青色 <input type="checkbox"/> 祖母…緑色 ○分かることには、年齢、職業、家族構成といったプロフィール的な要素や、言動から分かる性格や価値観といった内面的な要素があることに気付かせる。 ○内面的要素については、根拠や理由について尋ねたり答えたりさせる。 ○主人公にする人物ごとに、グループ編成をすることを伝える。	読-1 主人公にする人物を決めるために、登場人物のことが分かる表現に気を付けて「盆土産」を読み、描写の効果や登場人物の言動の意味を考え、人物像を思い描いている。 【ワークシートの記述】 いくつかの部分について実際に線を引いたり、書き込みをしたりする作業を一緒にを行い、個別に学習内容を理解させる。
まとめ	7 授業を振り返って自己評価をし、学習計画表に「学んだこと(学習のまとめや感想)」を記入する。 8 次時の見通しをもつ。	学習計画表	○学習計画表とワークシート②③を回収し、本時で生徒が学んだことや課題に思ったことを把握するとともに、グループ編成をする。	